

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1
TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

<http://computernews.com/marketview>

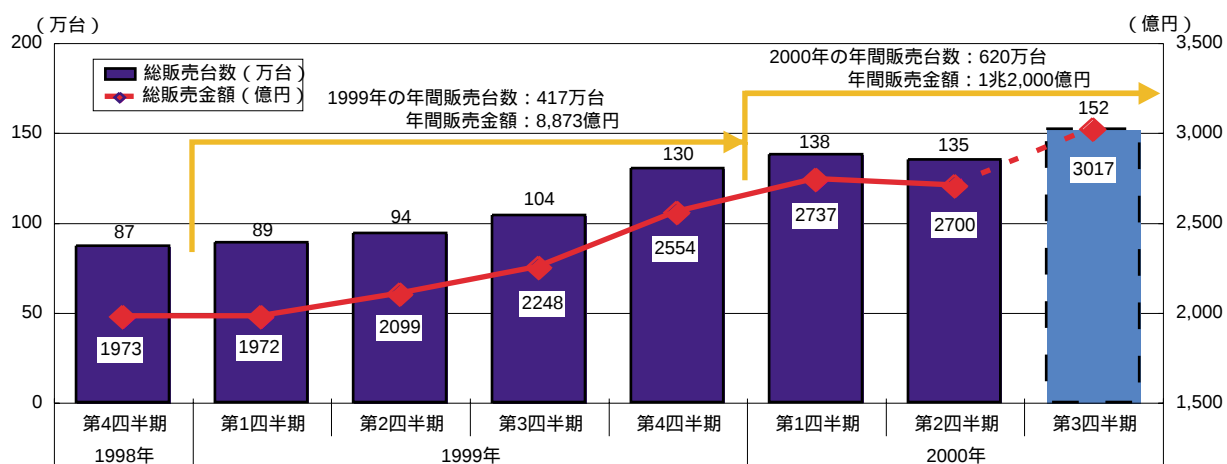
2000年第2四半期（4～6月）のPC店頭市場は好調

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社は、東名阪のパソコン大手販売会社9社(エイデン、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ニノミヤ=50音順)288店舗の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキング(システム名:BCN Market View)を公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研は、2000年第2四半期の国内店頭市場は前年同月比43.6%増の135万台となったと発表した。NTTの完全定額制サービスの施行やケーブルテレビ回線の普及など、インターネット環境を巡るインフラの整備が、PCの好調な販売に弾みをつけた。2000年第3四半期は、インフラ整備の加速と9月下旬の「Windows ミレニアムエディション」発売が追い風となり、前年同月比46.2%増の152万台に達すると予測する。

国内店頭市場における2000年第2四半期(4～6月)のPCの販売台数は、前年同期比43.6%増の135万台、金額では28.6%増の2,700億円となった。前期比(第1四半期)の販売台数では2.2%減、金額では1.4%減と98年第4四半期からの統計集計以来初めて前期の実績を下回った。部材不足が大きな要因であり、とくにDVD-ROMドライブの部材供給が滞った。BCNランキングでのPCのDVD-ROM標準搭載比率をみると、1999年第4四半期(10～12月)では、

PCの国内店頭市場販売台数/金額推移(四半期ベース)



(BCNランキング)



24.1%であったが、2000年第1四半期（1～3月）では28.2%、第2四半期では28.9%に比率を高めている。PCメーカー、DVDプレーヤーメーカー、カーナビゲーションメーカーなどでのDVD-ROMの部材確保争いが激化したとみられ、消費者の需要に供給が追いつかない状況となった。

需要増の要因としては、通信インフラの整備が進み始めたことがあげられる。NTTは通信が使い放題となる完全定額制を東京、大阪の大都市部を中心に5月からスタートした。また、昨年からのケーブルテレビ業者各社も通信の常時接続が利用できるサービスを開始、平成11年度の郵政省の通信産業動態調査では、ケーブルテレビ業者の売上高が前年比9.3%増となった。インターネット、電子メールがいまだPCの利用目的の中心であることから、これらの要因が第2四半期の前年同期比43.6%増という実績につながった。

第3四半期（7～9月）も市場は活況を呈するだろう。「Windows ミレニアムエディション」の発売効果及び、インフラ整備の加速が需要をさらに拡大していくと考えられる。店頭市場は、前年同期比46.2%増の152万台、金額では同18.1%増の3,017億円に達し、国内市場全体では327万台に達する見通しだ。

2000年暦年のPCの販売台数は、店頭が612万台、国内市場の総販売台数は前年比35%増の1,350万台に達するとBCN総研では見込んでいる。